

# グリーン調達の実務

電気・電子機器用部材のグリーン調達調査共通化指針

編著：グリーン調達調査共通化協議会

## 一目でわかる！

豊富な資料・事例をまじえて解き明かす電気・電子機器製品の含有化学物質調査共通化のすべて。日本の「グリーン調達の共通化と製品のグリーン化」の方策を集成した初の画期的マニュアル！ 回答記入例・操作方法等操作マニュアルを詳述。社内研修用テキストとして最適。

調査回答ツールは電子情報技術産業協会（JEITA）ホームページからフリーでダウンロードできます。



●発行  
社産業環境管理協会

●発売所  
丸善(株)

ISBN4-914953-83-8 C3051 ¥1900E

●判型  
A4判(130頁)

●定価  
本体1,900円+税

9月20日発行予定

## 申込用FAX用紙

発売所

丸善(株)出版事業部

TEL: 03-3272-0521

(社)産業環境管理協会の委託を受け、丸善株が受付・販売しています。

FAX: 03-3272-0693

【グリーン調達の実務  
電気・電子機器用部材のグリーン調達調査共通化指針】購入申込書

◎お申込み冊数をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

定価：一部 1,900円+税 ※代金引換え ( ) 冊	
ふりがな 御芳名	-----
お届け先御住所	〒 ----- -----
TEL・FAX	TEL FAX

※お支払いは宅急便による代金引換えです。

ご注文をお受けしてから通常3~4日で宅急便にてお届けいたします。商品受取の際、商品代金と送料一律380円(税込、複数注文でも同額)をお支払い下さい。なお、領収書につきましては宅配業者の発行するものとなりますのでご了承下さい。



製品に含有する有害物質の調査について、1992年頃の欧州企業の調査開始に始まり、時代とともに、その重要性は拡大してきました。しかし反面、調査活動は標準のない段階であったため、各社毎の独自調査の増加により、社会全体として無駄が生まれ、調査の精度面でも必ずしも満足できる状況にはありませんでした。

そこで、2001年1月より、電気・電子機器メーカーの有志企業が集まり、部品・材料に含有する化学物質調査の共通化について、議論を開始いたしました。

この会合は「グリーン調達調査共通化協議会」(JGPSSI: Japan Green Procurement Survey Standardization Initiative)と命名し、この2年以上にわたり、月1回ペースで議論を重ねてきました。当初8社で開始したのですが、主旨にご賛同いただける企業も増加し、現在では機器メーカーだけにこだわらず、部品メーカーや素材メーカーの参加も得られ、40数社の規模に拡大しています。

協議会は2002年3月に、約1年間の議論をまとめ、トライアル用の「グリーン調達調査共通化ガイドライン」を発行いたしました。そして、2002年4月以降、準備のできた企業から順次トライアル運用を開始しています。

また一方、この調査共通化については世界共通の課題であり、欧州(EICTA)や米国(EIA)の業界団体とも協議を進め、日本を入れた三極合意を進めてきました。現在は、調査対象化学物質群の大筋の合意が得られた段階です。更に、三極合意に向け議論を進めています。

トライアルを経過し、トライアル中に得られた成果や課題をもとにし、三極で合意された事項を加味し、2003年7月にガイドラインを改訂いたしました。また、調査回答方法・調査対象化学物質・調査回答フォーマットについても共通化し、さらに幅広い企業のかたにご利用いただけるよう整備を進めました。

本書は、上記の約1年間のトライアル調査の経験を踏まえ、グリーン調達調査共通化協議会内で議論したことを、わかりやすく解説することを目的に発行するものです。

本書の出版が「調査の共通化」につながっていくこと、社会全体としてより無駄の少ない「含有化学物質調査」につながっていくことを期待しています。

## 目次

### ■PART-I 環境展望とグリーン調達

#### 1 グリーン調達の背景と動向

- (1) はじめに
- (2) 世界機構での持続可能な発展に向けての検討
- (3) 欧米で製品・廃棄物関係の法制化が進展
- (4) 製品に含有する化学物質に関するデklarレーション
- (5) 国内のグリーン調達の高まりと焦点の変化
- (6) グリーン調達調査の共通化の動き

#### 2 グリーン調達調査のポイント

- (1) 製品に含有する化学物質規制法対応は原部品で決まる
- (2) 「原部品」の化学物質含有量
- (3) 原料中の成分情報源MSDS  
MSDSから得られる情報  
〈参考資料〉MSDSを補完する特定の化学物質含有情報シート
- (4) 今後の方向(含有化学物質情報のデklarレーション)

### ■PART-II グリーン調達調査指針

#### 1 グリーン調達調査共通化協議会の組織・運営

- (1) グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)
- (2) グリーン調達調査共通化協議会の指針と特徴  
(ガイドラインについて)

#### 2 グリーン調達調査の対象物質

調査対象物質リスト(リストA)

レベルA/レベルB

#### 3 関連法規の概要について

関連する法規制の概要説明

国際条約/欧州法/米国法/国内法

#### 4 例示物質のリスト・用途例

- (1) 例示物質リスト

レベルA/レベルB

- (2) 調査対象物質群の用途例

レベルAの化学物質/レベルBの化学物質

### ■PART-III グリーン調達調査の回答実務

#### 1 グリーン調達調査の回答実務

- (1) グリーン調達調査への回答方法

調査回答の作成と回答方法

調査回答に用いるツールと運用イメージ

調査回答ツールの基本操作方法

基本情報調査画面の各ボタンの使い方

「input」ボタン・「copy」ボタン・「clear」ボタン

化学物質調査(1)画面の各ボタンの使い方

化学物質調査(2)画面のボタンの使い方

調査回答ツール操作マニュアル

調査回答ツールのプログラムを立ち上げる

調査依頼データの取り込み

回答内容の入力

入力した内容の調査回答フォーマット(JGPファイル)への保存

調査回答ツールの終了

データ確認ツールによる回答するデータの内容確認

完了

- (2) 調査回答の記載要領

① 基本情報調査(化学物質調査)シートの調査元情報・調査先情報の記載要領

② 基本情報調査(化学物質調査)シートの部品情報の記載要領  
製造工程使用調査物質リスト

③ 化学物質調査(1)シートの記載要領

④ 化学物質調査(2)シートの記載要領

4.1 A群・D群の金属・金属化合物の場合の「化学物質調査(2)シート」記載要領

4.2 B群・C群の非金属材用の場合の「化学物質調査(2)シート」記載要領

4.3 B群の臭素難燃材の場合の「化学物質調査(2)シート」記載要領

4.4 放射線物質欄の場合の「化学物質調査(2)シート」記載要領

- (3) 部品の構成単位となる事例

【構成部位の事例1】コネクタ類

【構成部位の事例2】スイッチリレー等、機構部分を持つ部品

【構成部位の事例3】表面実装型チップ部品

【構成部位の事例4】半導体デバイス

【構成部位の事例5】トランス、インダクタ類

【構成部位の事例6】DCモーター

【構成部位の事例7】電線ケーブル(電源コード)

- (4) 手書き用の調査回答フォーマット

#### 2 調査にあたっての質疑応答

Q&A集(よく聞かれる質問)

### ■PART-IV 付録

- (1) 電子ファイルのフォーマット

(2) 化学物質リストのナンバリング定義

(3) 旧リスト-Aと新リスト-Aの変更比較一覧表

(4) オゾン層破壊物質のクラス分け

(5) グリーン調達調査共通化ガイドライン

(6) 厳密な含有化学物質記載方式IMDS

IMDSタイプのデklarレーションの例

(7) 重要語句の用語説明